



地道に広報展開

## 群馬建協HP

群馬県建設業協会（青柳剛会長）の公式ホームページ（HP）へのアクセスが、3日に90万回を突破した。講習会のお知らせなど会員企業向けの情報だけでなく、県内各地で実施している清掃活動や安全・環境。パトロール、最近では新型コロナウイルス感染症対策となる避難所間仕

## アクセス数が90万突破

切りの組み立て訓練など、会員が取り組む社会貢献活動を行政や県民にも広く発信。HP開設から約10年を経て到達した。今後も常に新しい情報をアップする「鮮度」にこだわり、100万回の大台を目指す。

8400人以上のフォロワーを持つ協会ツイッターでのつぶやきも効いた。

90万回まで残すところ約400回だった2日、HPのアクセスカウンターがちょうど90万回だった人に、協会マスコットキャラクター「ぐんけんくん」のぬいぐるみなどを贈呈すると投稿。翌3日には当選者本人から、「900000」が表示された画像写真とともにリツイートが届いた。

群馬建協はかねてより、HPやSNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス）を積極的に活用。自然災害が発生した現場の状況や、その復旧作業の進捗などを各地の会員がリアルタイムに伝える投稿には、県民からも大きな関心が寄せられている。

青柳会長は「ずっと前から、建設業はもっと広報に力を入れるべきと言われてきた」と指摘し、今後も継続して地道に取り組むことで、「地域の守り手」たる建設業の魅力や誇り、やりがいの「見える化」、そして将来の担い手確保の一助になると信じている。